

会報



すいせん

2004.7.15

86号

社団法人 福井県放射線技師会

〒918-8223 福井市河水町第14号30番地 南道内装飾ビルC棟1階西
TEL 0776-57-0696 FAX 0776-57-0699発行者:真柄 義一
編集責任者:西郡 克寛E-mail:office@fart.dyndns.org
HP:http://fart.dyndns.org/

巻頭言

今年度の技師会活動について

会長 真柄 義一

平成15年度(第56回)定期総会におきまして、会長に再任され大変光栄に思っております。これも偏に、会員の皆様方の暖かいご支援の賜と感謝申し上げます。また総会の議事におきましても、深いご理解を頂き満場一致でご承認頂き厚くお礼申し上げます。

年金制度改革関連法が、与党から十分な説明がなされないままに参議院で強行採決された。大事な年金法案がこのようなかたちで処理されることは、腹立たしい限りである。今後、年金一元化を含む社会保険制度の見直し、また医療界への株式会社の参入等我々に直接関係する問題もこのようなかたちで決定されていくのであろうか。

過日、5月21日(金)に第61回日本放射線技師会総会が開催された。今回の総会では30数年振りに会長選挙が行われ、現職の熊谷会長が僅差で対立候補の藤間氏を破り再任された。これほど僅差となった原因の一つに、(株)日本放射線技師会出版会の設立問題があり、理事会・評議会等で十分な説明と同意を得ないまま設立して事業を行ったことにある。これでは、国会の強行採決と変わらず会員から信頼を得ることは難しく、僅差となった原因と思っている。しかしながら、3月19日に開催された臨時理事会において、一定の条件のもとに修正して(株)日本放射線技師会出版会を設立することが決定されるとともに、総会においてこの問題を含む平成15年度事業報告ならびに平成16年度事業計画が承認可決されたからには、日放技と歩調を合わせて各事業を展開して行かなければならない。新執行部については、会員に見え信頼される運営を強くお願いするところである。

さて、福井県においては、「生涯学習の推進」を平成16年度のスローガンに各事業を展開する。文頭に書いた、医療費抑制を目的とした医療界への株式会社の参入案については、我々医療職にとって死活問題となる可能性を含んでおり、その方向性を良く見据えなければならない。株式会社においては、まず利益を上げ株主に還元することが経営の基本であり、人員を削減し人材派遣等により経費の削減を図ることが予想できるとともに、良質な医療の提供が二の次になることは明白である。これに加え、規制緩和による他職種へのX線撮影が認可されれば最悪の結果となる。

株式会社の参入と規制緩和は別問題である。しかしながら、このような事態にさせないために、今行わなければならないことは同じで、良質な医療を提供するために生涯を推進し、放射線を扱うまた画像を取り扱う専門職として付加価値をつけ、世間に認められるような業績を作ることが肝要である。日放技が行っている「生涯学習システム」は、実績を作る大きな事業であり、ますます拍車が掛かってくるものと考えている。会員一人ひとりが実践することにより、自分たちの地位の向上に繋げられるものであり、なお一層の研鑽をお願いする次第である。

もう一つの本会事業の柱は、IT技術を駆使した会の運営である。日放技においては、事務所を移転してIT化に備えているところであり、早期の情報収集と会員への情報開示を行う必要がある。また、事務所を有効利用するためには、会員からの連絡等にもIT技術を大いに利用し連携を図っていく必要があり、運営基盤として大きなウエイトを占めている。この問題については、情報ネットワーク委員会を新設して対応していくが、如何に有効利用するかが今後の課題と受け止めており、会員各位のご協力をお願いするところである。

第56回(社)福井県放射線技師会定期総会議事録

平成16年5月30日(午前9時30分より)
福井県中小企業産業大学校



～ 議 事 録 ～

- 開会の辞
池野 徹 副会長(泉ヶ丘病院)
- 会長挨拶
真柄 義一(中村病院)
- 功労者表彰
斉藤 善明(福井県済生会病院)
木下 喜一(公立丹南病院)
窪田 高一(公立丹南病院)
- 20年勤続表彰
団野 満(福井県予防医学協会)
白崎 範雄(福井市保健センター)
橋本 守啓(大滝病院)
中山 昌幸(福井総合病院)
山崎 亮一(福井赤十字病院)
秋田 直昭(福井赤十字病院)
浦井 浩嗣(福井厚生病院)
大戸 浩史(福井県立病院)
柴田 雅道(福井県立病院)
長谷川喜也(福井大学医学部付属病院)
山田 博之(西武クリニック)
- 資格審査委員及び総会運営委員選出
資格審査委員(3名)
上口 雅也(林病院)
桑垣 昌明(中村病院)
白崎伸一郎(中村病院)
総会運営委員(3名)
大戸 浩史(福井県立病院)
後藤 茂樹(福井県立病院)
南 利昭(坂井健康福祉センター)
- 議長選出
柴田 英和(福井循環器病院)
- 議長登壇
- 資格審査委員会報告
会員数:268名(平成16年5月30日現在)
出席者:48名
委任状:156名
合計:204名
会員の過半数を越えましたので、定款第4章22条に基づきこの会は成立しました。
- 総会運営委員会報告
総会日程を発表いたします。10時より議事各種、議案審議を11時15分までに終了。その後11時20分より役員選挙を行い、12時に総会を終了いたします。
- 総会役員選出
書記(2名)
高田 英二(福井県済生会病院)
坪内 啓正(福井県済生会病院)
議事録著名人(2名)
松田 嘉文(林病院)
濱田 寛(公立丹南病院)

■ 第1号議案 -平成15年度事業報告・総括・庶務報告・決算報告・監査報告-

執行部より平成15年度事業報告、庶務報告、決算報告、監査報告があり、質疑に入った。

〈質疑応答〉

清水会員:15年度の方方で技師会への求人は7施設8名で、その8名はどうなったか心配しているのですが、技師会としてお世話することはできたのでしょうか?

津田理事:8名の方については就職しています。

清水会員:毎年多くの方が卒業されており、技師の需要拡大についてこのような活動は技師会もしっかり力を入れていただきたいといつも思っています。よろしく願います。

土肥会員:事務局整備基金の未納者はありますか。

有房理事:会費と同時に集めていますので、会費未納者は事務局整備基金が未納となります。また賛助会員では、特別会員は払えないと拒否された会社が1社ございます。

土肥会員:全正会員の方は出していただけないとおかしいのではないですか。ここの所をきちんとしてほしい。あと、いつも会費未納者何名と書かれていますが、次の総会の時にどのようになったかが、一つも書かれていない。その後、どのようになったか知りたい。

有房理事:私が会計をした限り、未納はここにあげている8名です。13年度は完納です。14年度分は1名未納で、その会員から今年の会費も納入されていません。2年分未納になっておりますので、退会勧告の形になるかと思えます。あとの6名のうち、2名は4月会計を締めた後に入金されているので、実質的には4名の方が15年度の会費未納です。本部との送金の方法が変わり、Webで直接本部の会費未納状況を調べられるようになりました。それを調べてみたところ、かつて、何名かの方が未納になっており、よく調べてみると他県から福井に入って来られた方が、他県でも未納で福井でも未納という状態になっているようです。15年ほど前のケースですので、会長とも相談したのですが、これはしょうがないのではないかと考えています。何年間も続けて未納の方はございません。

土肥会員:一応、このように書かれていると、その後どうなったのかと考えています。あと、整備基金は、全正会員が出していただけないと、強制的に集めるという話だったので一つよろしく願います。

小沢会員:会誌発行基金ですが、これは会誌ができて、皆さんに発そうしてあるのに、何故お金が払われなくて基金の状態になっているのかなと思うのですが説明をお願いします。

有房理事:決算書は、3月31日で締めているわけで、その時点ではいくらかわからないし、請求書がくるのは早くても5月です。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第1号議案、平成15年度事業報告は挙手により採決され賛成多数で可決承認された。

■ 第2号議案 –平成16年度事業計画案、予算案–

執行部より平成16年度事業計画案総括、各委員会からの事業計画案の説明があり質疑に入った。なお、予算案については第5号議案会費納入規定の改正案と関連があるため、第5号議案と同時にやりたいとの申し出があった。

会 場：異議なし

議長：第1号議案の採決方法に間違いがあったのでやり直しを行いたい。

第1号議案の採決

平成15年度事業報告、庶務報告、決算報告は賛成多数（反対0、保留0、賛成204）により可決承認された。

—続いて第2号議案の質疑に入る。—

〈質疑応答〉

小沢会員：學術委員会にお願いがある。被ばく線量の測定の実施について、希望の有無に関わらず全施設したほうが良いのではないかと。胸部だけではなく特に話題になっているCTの被ばく線量の測定も行ってはどうか。

福島理事：もっともなご意見で、患者様の関心も高い。当初はCR化による被ばく線量の増加を防ぐ意味合いがあった。放射線管理委員会とも相談したモダリティ毎や全検査数と被ばくとの関係を見ていかなければとは思っている。各施設の協力が必要。

小沢会員：1度に全部は無理がかかる。各施設が自施設の検査における照射線量をきちんと把握していないのが現状だと思われる。これからはそれはいけないと思う。

土肥会員：放射線管理士が国の原子力防災のスタッフとして登録されているのか。

真柄会長：今現在入っていない。日放技としては申請している。福井県の防災訓練の中には、放射線技師の名称がようやく入った。

土肥会員：被ばく線量について、測定値等は放射線技師が勉強しているが現場では生かされていないのではないかと。特に医者への認識が低い。技師会としてはどう考えているのか。

真柄会長：極力被ばく線量を抑えることは大事である。最低の線量に抑える努力は必要であり、我々の役割である。医者への理解を得ながら推進していきたい。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第2号議案は賛成多数（反対0、保留0、賛成204）により可決承認された。

■ 第3号議案 –平成16年度・17年度の役員数について–

真柄会長が主旨説明を行い質疑に入った。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第3号議案平成16年度・17年度の役員数は賛成多数（反対0、保留0、賛成48）により可決承認された。

■ 第4号議案 –定款一部改正について–

真柄会長が主旨説明を行い質疑に入った。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第4号議案定款の一部改正案は、賛成多数（反対0、保留0、賛成204）により可決承認された。

■ 第5号議案 –会費納入規定の改正案並びに予算案について–

有房理事より予算とともに承認を頂きたい旨の要望に引き続き、会費納入規定の改正案についての説明があり質疑に入った。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第5号議案会費納入規定の改正案並びに予算案は賛成多数（反対0、保留0、賛成204）により可決承認された。

採決後、有房理事より日本放射線技師会の会員会費納入規定並びに会費免除に関する規定の改正について説明があった。

■ 第6号議案 –スローガンの採決–

真柄会長から、「生涯学習の推進」について主旨説明があり質疑に入った。

議長：質疑が無いようなので採決に入ります。

採 決

第6号議案スローガンの採決は賛成多数（挙手）により採択されました。

■ 第7号議案 –その他、事務所運営規程の報告および事務所使用時の注意事項について–

池野副会長が要旨説明を行い質疑に入った。

〈質疑応答〉

小沢会員：事務所の位置が非常に分かりづらい。看板か何か取り付けてはどうか。

真柄会長：家主と相談が必要だが、看板なら可能ではないかと。金銭的な問題もある。検討したい。

議長：第7号議案に執行部からの追加発言がある為、運営委員に議事の延長を承認していただきたい。総会運営委員：5～10分は構わないと思われる。

真柄会長：執行部より生涯学習システムの変更について説明する。

—西出理事より、

新生涯学習システムの概要の説明を行った。—

議長：第7号議案について採決に入る。

採 決

第7号議案は賛成多数（挙手）により可決承認された。

一有房理事より新生涯学習システムの概要の補足説明一議 長：これをもちまして、第56回福井県放射線技師会定期総会の議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

一議事終了一

議 長 柴田 英和
議事録署名人 松田 嘉文
濱田 寛

～ 役員選挙～

（理事14名、監事1名の選出）

●選挙管理委員選出（3名）

山口 功（福井大学医学部付属病院）
田泉 智明（市立敦賀病院）
倉中 博之（福井総合病院）

●開 票

投票総数 48票
有効投票数 46票
無効投票数 2票

●開票結果
理 事

西出 裕子（福井県立病院）	43票
福島 哲弥（福井大学医学部付属病院）	42票
山崎 巖（市立敦賀病院）	42票
有房 栄嗣（福井県済生会病院）	41票
石田 智広（福井赤十字病院）	41票
白崎伸一郎（中村病院）	41票
真柄 義一（中村病院）	40票
前川晃一郎（春江病院）	40票
小川 吉一（福井県立病院）	39票
池野 徹（泉ヶ丘病院）	36票
片田 武彦（新田胃腸科放射線科病院）	36票
水谷富士雄（木村病院）	33票
西郡 克寛（福井赤十字病院）	30票
大西 正（福井総合病院）	27票
次点 津田 清孝（笠原病院）	13票

監 事

花山 新一（福井市役所）	31票
次点 清水 勲（福井県済生会病院）	6票

●会長の承認

新会長は、新役員より選出・推薦のありました真柄義一氏を、総会に諮り承認を得ました。

以上選挙結果について報告します。

選挙管理委員長 山口 功

一総会終了一

平成16年度（社）福井県放射線技師会役員名簿

平成16年度5月30日に行われた第56回総会ならびに、その後開催された理事会において、新役員は次のように決まりました。

会 長	真柄 義一	中村病院
副会長	小川 吉一	福井県立病院
"	池野 徹	泉ヶ丘病院
会 計	有房 栄嗣	福井県済生会病院
事務局	白崎伸一郎	中村病院
地域医療対策	石田 智広	福井赤十字病院
生涯学習推進	西出 裕子	福井県立病院
情報ネットワーク	片田 武彦	新田胃腸科放射線科病院
学術研修	福島 哲弥	福井大学医学部付属病院
広報組織	前川晃一郎	春江病院
福利厚生	大西 正	福井総合病院
放射線管理	山崎 巖	市立敦賀病院
出版事業	西郡 克寛	福井赤十字病院
監 事	花山 新一	福井市役所
外部監事	岡田 芳明	岡田公認会計士事務所

各委員会名簿**学術研修委員会**

委員 長 福島 哲弥 福井大学医学部付属病院

山口 功	福井大学医学部付属病院
小川 吉一	福井県立病院
山中 良治	福井県立病院
西村 英明	福井赤十字病院
坪内 啓正	福井県済生会病院
鈴木 幹大	福井総合病院
木村 幸治	木村病院（鯖江）
斎藤 綱英	中村病院
田泉 智明	市立敦賀病院

放射線管理委員会

委員 長	山崎 巖	市立敦賀病院
	萩 勝彦	福井県立病院
	龍田 俊一	福井県済生会病院
	中山 昌幸	福井総合病院

広報・組織委員会

委員 長	前川晃一郎	春江病院
	毛利 隆保	春江病院
	山川 典子	田中病院
	高村 真司	福井市医師会臨床検査センター
	斎藤 善明	福井県済生会病院
	筑紫 郁恵	福井県済生会病院
	木村 裕治	中村病院

地域医療対策委員会

委員長	石田 智広	福井赤十字病院
副委員長	水谷富士雄	鯖江 木村病院
	春田 功	松原病院
	本田 和宏	つくし野病院
	窪田 高一	公立丹南病院
	山本 幸美	福井県立病院
	高田 英二	福井県済生会病院
	加藤 豊治	藤田記念病院
	佐々木基充	中村病院
	山崎 亮一	福井赤十字病院

福利厚生委員会

委員長	大西 正	福井総合病院
	馬場 国晴	春江病院
	宮下 芳幸	福井県済生会病院
	吉田 和浩	福井県立病院
	中尾 秀昭	福井赤十字病院

生涯学習推進委員会

委員長	西出 裕子	福井県立病院
	杉本 勝也	福井大学医学部付属病院
	山本 敏信	福井県済生会病院
	北川 佳孝	中村病院
	高橋 政史	福井総合病院

笠原 茂	福井県立病院
前田 陽子	福井赤十字病院

情報ネットワーク委員会

委員長	片田 武彦	新田胃腸科病院
	秋田 直昭	福井赤十字病院
	荒谷 繁幸	福井県予防医学協会
	前田 俊浩	福井県済生会病院
	坊 由美子	泉ヶ丘病院
	中川 陽代	吉村整形外科病院

出版事業委員会

委員長	西郡 克寛	福井赤十字病院
	池野 徹	泉ヶ丘病院
	荒谷 繁弘	中村病院
	平木 美和	福井赤十字病院
	北 章延	福井大学医学部付属病院
	北野 陽一	福井県済生会病院
	村田 香織	福井県立病院

事務局委員会

委員長	白崎伸一郎	中村病院
	中條 輝美	中村病院
	野阪 知美	中村病院
	佐々田昌哉	中村病院
	桑垣 昌明	中村病院

平成16・17年度役員紹介

■真柄 義一

役職	会長
勤務先	中村病院
役員歴	昭和63年～3年 理事広報調査担当 平成4年～11年 副会長(広報調査委員会委員長兼務) 平成12年～現在 会長

抱負 早いもので、会長職をお引受けしてから2期4年が経ちました。これも会員各位をはじめ役員各位のご支援とご協力の賜と感謝申し上げます。

新任の2年間は、組織の基盤づくりとして執行部の体制を整え充実した事業推進と効率化を図り、2期目の2年間で対外的な活動に力を入れるとともに、その拠点となる事務所を取得できましたことは一つの大きな成果だと思っています。

対外的な活動では、原子力防災訓練時の事前研修会における講師を委任されるなど、放射線を扱う専門職として認められつつありますが、この機会をのがさず、今以上に積極的な活動を行い専門職としての地位を確立する必要があります。また、事務所の取得に関しましても、ただ取得しただけでは宝の持ち腐れであり、本会の発展に向けて如何に有効利用するかが今後の課題と受け止めています。

今期2年間は私の会長職としての総まとめと

して、上記の課題や問題点を一つひとつ解決して組織の強化を図り、診療放射線技術職が社会的評価を得られるように頑張っていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。抱負と致します。

■小川 吉一

役職	副会長(学術研修兼務)
勤務先	福井県立病院
役員歴	平成10年～11年 常務理事(会計担当) 平成12年～現在 副会長(学術研修兼務)
抱負	理事に再選され、副会長職を引受けることになり、重責を感じております。

昨今の医療社会の変化を目まぐるしく変化してきています。日放技の熊谷会長は就任後、我々技術職においても技師格、新生涯学習システム、等々の講習会、資格試験が昨年は次々と実行されてきました。今年度も本県においては看護学をすでに計画しております。我々は常に新技術の習得に励んできていたが、研鑽の成果を資格という形で表すことにもなり、これを機会に多くの受講を願っています。

本県技師会は医療の進歩、技師会のスピード化に対応すべく委員会をつくり取り組みます。また、本年度は本県の技師会は法人化25年とい

う節目に当たり、記念式典を計画しており、会員のご協力を得て成功したいと思っております。また、今年度は委員会の編成、新設し、新理事を3人迎え、委員会を充実して、会員の要望に応えられる会の運営を考えております。会員各位のご理解と、ご支援をお願いします。

■池野 徹

役職 副会長 (出版事業兼務)
勤務先 泉ヶ丘病院 (敦賀)
役員歴 平成2年～5年 福利厚生委員長
平成6年～11年 地域医療対策委員長
平成12年～13年 副会長 (広報調査兼務)
平成14年～現在 副会長 (出版事業兼務)
抱負 5月の定期総会において理事に再選され、副会長 (出版事業兼務) の任に就くことになりました。1期2年どうぞよろしくお願い致します。昨年は、技師会事務所取得に向け会員のお力添えをいただきありがとうございました。今後は、有効利用と会員へのメリットを最大限に出せる運営を行っていきたく考えています。また、本年度は、法人化25周年にあたりその実行委員長を引き受けることとなりました。多くの会員の方のご協力と事業へのご参加をよろしくお願い致します。

■有房 栄嗣

役職 常務理事 (会計担当)
勤務先 福井済生会病院
役員歴 平成8年～11年 常務理事 (事務局担当)
平成12年～現在 常務理事 (会計担当)
抱負 会計担当に就任して三期目になります。会員にわかりやすく、法人として体裁の整った会計運営を目指してきました。ここにきてようやく、まいた種から芽が出てきたようです。今期は立派に実を結びますよう頑張ります。

■白崎伸一郎

役職 常務理事 (事務局担当)
勤務先 中村病院
役員歴 平成12年～現在 常務理事 (事務局担当)
抱負 事務局を担当することになって3期目となり、本部のIT化促進や事務所取得など事務局運営方法もだいぶ変わってまいりました。4月からは事務員として小澤会員と協力しながら事務局の整備に当たっております。この新しい事務所運営を軌道にのせるべく、また会員の皆さんに新事務所をおおいに活用していただくためにがんばりますので皆様のご協力をよろしく申し上げます。

■石田 智広

役職 理事 (地域医療対策担当)
勤務先 福井赤十字病院
役員歴 平成6年～11年 福利厚生委員長
平成12年～15年 地域医療対策委員長
抱負 早、今年で理事歴6期目を向かえました。同

じ人間が何年も理事に再選される事は、本会の発展にマイナスになる可能性があります。私自身も、マンネリにならぬよう初心を忘れず、新任理事と同様の気持ちで今期も頑張りますので、会員の皆様のお力添えを宜しくお願い致します。

■水谷富士雄

役職 理事 (地域医療対策担当)
勤務先 木村病院 (鯖江)
役員歴 新任
抱負 第56回定期総会において理事に選出され、地域医療対策委員会を担当させて頂く事になりました。全てが初めての事で、石田委員長と委員の方々に教えて頂きながら、副委員長の業務に取り組んで行きたいと思っております。委員会として、技師会会員各位の地域医療への関心を高めて、一人でも多くの会員の方々に地域社会への貢献に参加をして頂きたいと考えています。また、出務される会員の皆様が働きやすい環境の整備等を、進めていきたいと考えています。会員の皆様の、ご支援を無くしては円滑な業務の遂行は成しえませんが、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

■西出 裕子

役職 理事 (生涯学習推進担当)
勤務先 福井県立病院
役員歴 平成12年～13年 学術研修副委員長
平成14年～15年 放射線管理委員長
抱負 早いもので理事3期目を迎え、今年度からは新設の生涯学習委員会を担当することになりました。ご存知のように日本放射線技師会では生涯学習システムを立ち上げ、福井県放射線技師会としても今年度のテーマに掲げ、取り組んでいくこととなりました。多くの会員が講習を受け、ポイントを獲得して技師格の申請につなげていけるよう努力していきたく思いますので、よろしくお願いたします。

■片田 武彦

役職 理事 (情報ネットワーク担当)
担当 新田胃腸科放射線科病院
役員歴 平成12年～15年 地域医療対策副委員長
平成16年～現在 情報ネットワーク委員長
抱負 長年籍を置かせていただいた地域医療対策委員会から、新設の情報ネットワーク委員会へ移ることとなりました。当委員会を通じて、執行部と会員の皆様、また会員の皆様同士のコミュニケーションにいささかなりともお手伝いさせていただけたらと存じます。技術的にも未熟で皆様にご迷惑をおかけすることもあろうかと存じますが、会員の手による運用と広い目でお許しいただき、ご要望やご提案等がございましたら、委員会までお寄せいただきますようお願いいたします。

■ 福島 哲弥

役職 理事(学術研修担当)
勤務先 福井大学付属病院
役員歴 平成10年～現在 学術研修委員長
抱負 4期目の学術研修委員理事をやらせて頂く事になり、公私共に忙しくご迷惑になるのではと半分心配しています。昨年度は、会員の皆様には日常業務、学術的な勉強会等でお忙しいところ、勉強会、セミナーに多くの方々に参加、協力をして頂きありがとうございました。最近では、医療診療報酬改定等の制度の改定はもとより、目に見えない「時代の潮流」が病院経営の根幹を大きく揺さぶる状況の中、診療放射線技師にも新生涯学習システムや技術的専門認定制度、業務の標準化やシステム化、安全管理や患者サービスなどの意識改革、業務改革が求められています。この状況を打破するためにも、少しでも会員の皆様のニーズに応えた勉強会、セミナー等を開催致したく思っています。今後もご協力と参加の程よろしくお願ひいたします。

■ 前川晃一郎

役職 理事(広報・組織担当)
勤務先 春江病院
役員歴 平成12年～15年 広報調査委員長
平成16年～現在 広報・組織委員長
抱負 平成16年度の総会におきまして3期目の選出になりました。その間会員の皆様の御指導、御協力による会の業務を遂行することができ、深く感謝申し上げます。
医療現場もめまぐるしく変わる現状、我々技師サイドもこの対応の変化にとまどう事ばかりです。この現状に対し技師会もより充実した事業促進と効率化を図り、会員の皆様に利益につながるようにと思い、本年度は新しい委員会の設置又、広報調査と組織が統合され広報・組織委員会となり事業内容も増加し会員の皆様に、何かプラスになる活動と考えています。今後も会員一人一人の協力を得ながら、微力ながらも技師会や広報活動を通じて社会的評価を得られるよう頑張りたいと思っています。
宜しくお願ひ致します。

■ 大西 正

役職 理事(福利厚生担当)
勤務先 福井総合病院
役員歴 新任
抱負 平成16年度の総会におきまして理事に選出されました。なにぶん初めての経験で何から手をつけていいのか解からない状態ですが、会員の皆様の意見・要望等に耳を傾け任期を全うしたいと思っています。前任の山崎理事の後を受け技師会に新しい風が送れればと思いますのでよろしくお願ひします。

■ 山崎 巖

役職 理事(放射線管理担当)
勤務先 市立敦賀病院
役員歴 平成12年～15年 福利厚生委員長
抱負 今年度より放射線管理委員会を受け持つことになりました。これまでは福利厚生の行事を遂行するのが精一杯でしたが、今後は広い視野で物事を考えられるようになりたいと思います。放射線管理委員会では、放射線管理士との連携を密にし、技師会内外に幅広い活動を行っていきたいと思います。今年度は特に県内の緊急被ばく医療への活動を柱に、サーベイメータ講師・原子力防災訓練への参加・講演会の開催・発電所見学など充実した活動を目指します。会員皆様の御協力をお願いいたします。特に放射線管理士部会の皆様には研究会活動で共に頑張りましょう！

■ 西郡 克寛

役職 理事(出版事業担当)
勤務先 福井赤十字病院
役員歴 新任
抱負 今まで、福井県技師会活動への協力として学術委員1期、出版委員が2期の経験しかないにもかかわらず、理事という大役を仰せつかり、役の重大さが、いまさらながらひしひしと感じております。南前編集委員長から受け継いだ「すいせん」「年会誌」を継承し、時代にあった読みやすい紙面にしていきたいと思っています。会員の皆様方、委員の皆様方、他理事の皆様方よろしくお願ひいたします。

■ 花山 新一

役職 監事
勤務先 福井市福祉保健部
役員歴 平成12年～現在 監事
抱負 第56回定期総会において、本会の監事として再選されましたが、我々を取りまく医療界においては、小泉内閣の構造改革政策の一環として各種規制の撤廃や緩和が進められ、免許制度の更新や業務独占の撤廃が予想されるなど大変厳しい状況下であり、責任の重さを痛感しております。
本会においては、永年の夢であった事務所を取得するとともに、その活用と生涯学習を積極的に推進するため、役員一同が結束しています。このことが、結果的に専門職としての資質を高め、医療の一翼を担う職業として社会に貢献すべく、務めていきたいと存じます。

■ 岡田 芳明

役職 監事・公認会計士・税理士
銀行等金融機関の顧問他、福井県医師会・福井市医師会・福井市歯科医師会等の顧問公認会計士。



第67回日本放射線技師会総会に参加して

池野 徹

5月21日(金)、日放技総会が東京お台場にあるタイム24ビルで開催されました。

当日は、真柄会長と二人で早朝の電車で向かいました。前日の台風の影響で朝まで雨が残りましたが、徐々に青空が広がり台風を追いかける格好で東京に着きました。

今回の総会は、皆様もご承知のように30数年ぶりの会長選挙が行われることになり、活発な事前運動や怪文書が飛び交うなど、波乱含みの総会になることが予想されました。

代議員186名中181名の出席で、午前11時総会が始まりました。冒頭熊谷会長のあいさつでは、生涯学習システムが本格稼働を始めたこと、他団体との関係がもてるようになり、評価機構の改正に向けて政府に働きかけを行っていること、また波紋を呼んでいる「㈱日本放射線技師会出版会」については、設立の経緯に不備があったことに対して陳謝したが、新たな財源を確保するための方法であり理解してほしいとの事であった。

次に議長選出では、推薦2名、立候補2名の中より2名の議長が選出され議事に入った。質疑の大半は「㈱日本放射線技師会出版会」についてであり、登記前に技師会と出版会の間で契約なされており、理事会の決議も無かった。役員が取締役に入っていること。契約内容に技師会事務所および消耗品を借用できるとなっているのはおかしい。などの質問が出された。これに対して執行部は、については方針を変え修正案により3月の臨時理事会にて承認された事を説明した。その後「㈱日本放射線技師会出版会」を認めないという緊急動議が埼玉県より出され、採否の結果4票差で否決されました。その後平成15年度事業・決算報告等は賛成多数で承認され、13時10分休憩に入った。

14時より平成16年度事業計画案および予算案について審議に入った。事業案ではIT化を本格的に進め、生涯学習システムの環境整備を急ぐこと。技師法改正では4年大学卒の資格にしたいことや粒子線治療も扱えるよう政令改正を求めているとし、スピーディーな業務対応能力の強化を図っていききたいとした。また生涯学習システムの地方開催や意見扱い上げを今後行っていく上で、教育委員の役割が今後重要になってくるという話でした。事業計画案、予算案および会費等納入規程の改正案が賛成多数で承認されました。

いよいよ16時より役員選挙が行われました。今回は冒頭でもお話ししたように、会長のみ2名の立候補があり選挙となりました。選挙権のない執行部役員が退席後、出入口の閉鎖という緊張した空気の中でいよいよ投票が開始されました。結果は熊谷会長が101対83(無効2)の僅差で藤間英雄氏を破り再選しました。その批判票のほとんどは㈱日本放射線技師会出版会の設立経緯の不透明さや会員への情報公開がほとんど無かったことによるものと考えられます。この結果を真摯に受け止め、今後の会運営に生かしていただきたい。地方の会員は日放技からもっと情報を流してほしいと思っており、日放技がそれに答えることで今後信頼関係の修復が図られることを願っています。

真柄会長、選挙管理委員の大役お疲れ様でした。

23時敦賀駅下車にて帰宅の途につく。長い一日でした。

第20回 放射線技師総合学術大会の開催のご案内

表記大会が下記のとおり開催されますので、多数の会員の皆様方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

期 日：平成16年11月3日(水)～6日(土) 4日間

会 場：長崎市ブリックホール、長崎新聞文化ホール

主 催：(社)日本放射線技師会

登録方法：個人の口座振込による申し込み

(日本放射線技師会雑誌2004年2月号 / vo1.51 / No.616・6, 7ページ参照)

事前参加登録費 5,000円

当日参加登録費 15,000円

事前懇親会費 5,000円

当日懇親会費 10,000円

■振込み締め切りは平成16年9月30日です。キャンセル有効期間は、平成16年10月31日までとし、返金額は、送料を差し引いた額とさせていただきますのでご注意ください。なお振込用紙は、日本放射線技師会雑誌2004年2月号 / vo1.51 / No.616に綴じ込まれていますのでご利用ください。

平成16年度

第1回理事会議事録

議題1. 会長の選出について

新規役員により、新会長に「真柄義一」を選出した。
選出後、総会において承認を得て新会長に就任した。

議題2. 役員の職務分掌について

職務	理事氏名	担当業務	職務	理事氏名	担当業務
会長	真柄義一	総括	理事	西出裕子	生涯学習推進
副会長	小川吉一	兼 学術研修	理事	福島哲弥	学術研修
副会長	池野 徹	兼 出版事業	理事	前川晃一郎	広報組織
常務理事	白崎伸一郎	事務局	理事	大西 正	福利厚生
常務理事	有房栄嗣	会計	理事	山崎 巖	放射線管理
理事	石田智広	地域医療	理事	西郡克寛	出版事業
理事	水谷富士雄	地域医療	監事	花山新一	
理事	片田武彦	兼 ネットワーク	監事	岡田芳明	(外部監事)

法人化25周年記念事業実行委員長に池野副会長を選任した。

就任承諾書：署名捺印のうえ事務局まで提出する。
新任理事は、捺印は実印とし印鑑証明書を添付する。

総会議事録について：6月11日(金)までに議事録を作成して事務局に提出する。文章校正後、議長ならびに議事録署名人の署名捺印を得る。

定款改正の申請：総会終了後早急におこなう。

庶務課への報告：総会資料が出来次第行う。
(7月中旬頃予定)

法務局への登記：総会資料、就任承諾書、定款改正の認可後行う。(9月上旬予定) (実印および印鑑証明は、会長・議長・議事録署名人が必要)
【承認】

議題3. 各委員会委員の選任について

選任の留意事項

例年どおり、出来るだけ多くの会員の参加・協力により事業を推進するため、各委員会での委員選出は重複しないように申し合わせた。

事務局への報告

委員の選出は、6月18日(金)までに事務局に報告する。

委嘱状の発行：委員については6月26日(土)頃までに発送予定とする。
【了承】

議題4. すいせん第86号の発行・発送について

発行日：7月15日付けで発行
発送予定日：7月3週目発送予定

掲載内容：総会議事録、新役員構成、各委員会構成、全国総会報告、年間事業計画表(月別)、全国学術大会参加案内、会費納入案内、研究会等の活動状況、新役員紹介を掲載する。各自例年どおり抱負等を書いて次回理事会に提出する。

原稿〆切：6月22日(火) 【了承】

議題5. その他

第59回日放技総会報告(池野副会長)

池野副会長より概要について報告、詳細は第86号会報に掲載予定。

日放技会費の納入規定について(資料別途)

総会時に会計より説明。会員への啓発を図ることを申し合わせる。

日放技会費免除規定について(資料別途)

総会時に会計より説明。会員への啓発を図ることを申し合わせる。

中日本地域学術大会の座長推薦について(資料別途)

標記大会一般会員研究発表の座長推薦の依頼があった。福井県の担当は「教育・管理」であり、適任者について検討した。(〆切6月10日) 検討の結果、有房栄嗣理事を推薦した。 【承認】

第20回参議院議員選挙に関する支援活動について
県医師連盟より、西島英利先生の後援会入会申込書ならびに6月1日の決起大会への動員の協力依頼があり検討した。

決起大会への動員については、出来るだけ参加をお願いするとともに、入会申込書については、6月8日(火)までに事務局に提出することを決議した。(〆切6月10日)

庶務報告(資料別途)

新入会員ならびに転入会員について(資料のとおり)

福利厚生委員会報告(資料、理事会報告、北陸3県野球大会)

北陸3県野球大会が6月6日(日)、小松ドームで開催される。大会の次第等について報告された。(詳細については、資料参照)

平成16年度 事業予定表(7月～10月分)

月	予 定 日	放 射 線 技 師 会 関 連	関 連 団 体
7月	上 旬 2(金)～4(日) 11日 16日 17(土)・18(日) 下 旬 25(日) 28(水)	会報「すいせん」86号の発行 生涯学習履修科目(看護学1日目)(於 福井市医師会看護専門学校) 平成16年度中日本地域放射線技師学術大会 岐阜県大会(於 岐阜市) 福井県主催 初期被ばく医療従事者講習会 派遣者講習会 (放射線管理委員会、場所未定) 第1回常務理事会(於 事務所)	生涯学習セミナー(放射線治療) (於 教育会館) 臨床実習更新試験(於 教育会館) 総合画像研究会(於 福井県済生会病院) 認定試験(機器管理責任者・放射線管理士)(於 全国一斉)
8月	1(日) 4(水) 5(木)～8(日) 8月下旬～9月下旬 8(日) 22(日)～24(火) 下 旬 25(水)	生涯学習履修科目(看護学2日目)(於 福井市医師会看護専門学校) 福井県主催 初期被ばく医療従事者講習会 協力事業 (於 県庁6階大会議室、各健康福祉センター 計5回) 生涯学習履修科目(看護学3日目)(於 福井市医師会看護専門学校) I T講習会(ワード中級編)(於 コーアイ福井) 第2回理事会(於 事務所)	消化管撮影研究会(於 福井県立病院) 生涯学習セミナー(乳房検査)(於 教育会館) 生涯学習履修科目(A D集中セミナー)(於 教育会館)
9月	5(日) 11(土)～13(月) 17(金) 22(水) 26(日)	生涯学習履修科目(看護学)試験(於 福井県中小企業産業大学校) 第2回常務理事会(於 事務所) 臨床医学概論講習会(第一製薬共催)(予定 福井商工会館)	アドバンスドR T試験(於 全国一斉) 日韓合同セミナー 総合画像研究会(於 中村病院) 臨床技能検定(於 教育会館)
10月	6(水) 上 旬 13(水) 15(金) 21(金)～24(日) 下 旬 27(水) 31(日)	会報「すいせん」87号の発行 第1回勉強会(学術研修委員会)(場所未定) 秋のハイキング(福利厚生委員会)(場所未定) 第3回理事会(於 事務所)	消化管撮影研究会(於 福井赤十字病院) 総合画像研究会(於 丹南病院) 生涯学習セミナー(超音波中・上級)(於 教育会館) 医用画像管理者認定試験

委 員 会 報 告

● 広報・組織委員会 ●

総会にて承認されました、平成16年度事業内容につきまして報告します。

①リーフレット発刊について

平成12年度からの継続事業でありますリーフレットの第5弾としてMR I 撮影編を11月末に発刊予定です。

皆様の日常業務において又、検査を進める際お役にたててもらえれば幸いです。

部数に関しましては全員1人4枚程度にさせていただきます。

②IT講習会について

(社)放射線技師会において、インターネット及びホームページの開設にあたり、IT講習会の開催を本年度も予定しております。

詳細につきましては内容等が決まりしだい報告いたします。

③レントゲン週間のポスター作製について

昨年度から開催されました、レントゲン週間(11月2日~8日)のポスターを作成し広く市民に啓発する。

④広報・組織委員会におけるホームページのUP(会員専用)内容

(1) 全国放射線技師養成学校(35校)における福井県出身者の在学生調査結果

(2) 求人・求職情報など

● 福利厚生委員会 ●

第18回北陸3県放射線技師野球大会結果報告!!!!

ついにやりました! 念願の勝利!! 去る、6月6日(日)に小松ドームで行われた野球大会で、石川県チーム相手に4-1の熱戦を征し 年ぶりの勝利を収めました。試合は、2回まで白熱の投手戦で互角の立ち上がりでしたが、3回裏に石川チームに1点の先制を許してしまいました。4回表ファーボールと3本のヒット等で2点をあげ逆転に成功、5回にも2点をあげ先発の川上君のナイスピッチングで逃げ切り勝利を収めました。勝利の瞬間は、ベンチも応援席も大騒ぎ(特に会長が)・・・気が抜けたわけではないと思いますが次の富山チームとの対戦は15-4で惨敗! 次回は、優勝を目指してがんばると言うことになりました。ちなみに第3試合は9-2で石川チームが勝ち3チーム1勝1敗で並ぶという近年にない激戦でしたが、得失点

差でも石川・富山両チームが並び試合規程に則りじゃんけんで決着をつけました。結果は、富山チームが5-1で勝ち優勝を飾りました。

今回当番県になりました富山県さん、会場の準備をしていただいた石川県さんどうもありがとうございました。来年は、福井県が当番県になりますので会員の皆様のご協力・応援よろしく申し上げます。合言葉は“優勝して都道府県別対抗野球大会出場”

●第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
福井	0	0	0	2	2	0	0	4
石川	0	0	1	0	0	0	0	1

●第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
富山	2	7	2	0	4	/	/	15
福井	1	3	0	0	0	/	/	4

●第3試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
富山	0	0	0	0	1	1	/	2
石川	0	0	0	5	3	1	/	9

敢闘賞 小林鉄也(済生会病院)
優秀打撃賞 山本和洋(泉ヶ丘病院)
優秀投手賞 川上 渉(済生会病院)
ファインプレー賞 栗林 亮(大滝病院)

事務局だより

平成16年6月22日現在 会員数275 増減+3名
新入会

(仮 95243) 猪田康二 済生会病院
(仮 95245) 石田智一 福井大学医学部附属病院
(仮 95246) 山田和弘 福井大学医学部附属病院

改姓・住所変更

46482 三田美千代 木原美千代

平成16年度スローガン

生涯学習の推進